

## ISO 31050 の紹介（開発中）

ISO/TC 262（リスクマネジメント）と ISO/TC 292（セキュリティ及びレジリエンス）では、共同作業グループ（JWG）を設置して、2018 年から ISO 31050（Guidance for managing emerging risks to enhance resilience）の開発を行っています。

タイトルにある **emerging risk** は国内では新興リスクとも呼ばれています。

これは、現時点では、組織の目的の達成や組織の活動に著しい脅威又は影響を与えるものとして、まだ認識されていない潜在的なリスクを表します。

ISO 31050 では、この **emerging risk** を如何に検出し、マネジメントするかを記載しています。

また、**emerging risk** が発展して顕在化又はリスクとして認識された場合（脅威として、又は影響を与えるものとして認識された場合）、これを **emerged risk** と ISO 31050 では呼んでいます。

この **emerged risk** は ISO 31000 に基づき、リスクのマネジメントを行います。

一方で、**emerging risk** は、**horizon scanning**（未来予測）や **time horizons**（リスクが顕在化する時期の予測方法）、シナリオ計画などの手法を使用して予測・検知することが記載されています。

この手法は、今後組織が取り組まなければならないリスクを如何に迅速に認識し、対応するかに有用とされています。